

新設中学校開校に係る懇談会

令和4年5月30日 19:00～ 中央公民館大ホール

■出席者 保護者3人 学校関係者5人
東中教育長 曲里教育次長 ほか事務局4人

■教育長あいさつ

令和4年1月17日の会で、令和4年に新設校を開校する予定を、少なくとも今の中学校1年生が中学校を卒業するまでの間延期し、計画については新たに今年の6月に原案をお示しするという事を報告させていただきました。

その時に、皆様方のご意見も頂戴し、また、その後6年生の保護者会の中でもご意見をいただきました。

その中にこれからのことについては、全体会ではなく、少人数の部会に分かれて開催してほしい。また、こども園の保護者の意見も聞いてあげてほしいという声もありました。それで学年始めに、学級懇談会に出席させてもらい意見交換させていただく予定でしたが、懇談会が中止になるなど機会が持てなかったため、夜に懇談会のみ4回に分けて開催させていただくことになりました。

今日皆様方から色々ご意見を伺い6月に原案をお示ししたいと考えていますので、どうぞ色々なご意見をいただきますようお願いいたします。

なお、1月の会で検討することになっていた野上中学校に指定校変更した場合の通学支援バスの件ですが、1便ですが朝練に間に合うように、大十バスに委託し、運行しているところです。

指定校変更については、新中学1年生3名、在校生4名の計7名が申請し、野上中学校に通っています。

5月18日、20日、23日の懇談会で出た意見は、現在の野上中学校の施設のこと、部活動はどうなるのかということ、今年度運行開始した通学支援バスのこと、スクールバスについて、児童生徒の交流活動をもっと積極的にやってほしい、図書館や文化教育施設の建設について、など様々なご意見をいただきました。できること、できないことがありますので、精査しながら努力していきたいと考えています。

以上、報告になります。本日は出席者が少ないようですので、どうぞ遠慮なくいろんな意見を出していただけますようお願いいたします。

■質疑応答

○野上地区の保護者は統合することに抵抗感がない。早く統合したら良いと思っている。学校の場所が遠くなる生徒や保護者は大変になるだろうと思う。子どもより大人は早く起きないといけないので、気にしている人が多いのだと思う。小川地区も中学校から遠い地区がある。統合を機に小川地区にも通学バスが出るなら出してほしい。

○何km以上は通学バス適用されるかを明確にしておく方が良い。野上地区でも遠い距離を通学している生徒はいる。統合した後で問題になるなら、最初から適用ルールをきっちり決めておいた方がよい。

今日配付された質問事項記入用紙にしても、具体的な項目を挙げていないので、意見が出にくいのではないか。統合をする・しないについては特に意見はない。具体的なことを検討するのであれば、保護者それぞれに思いはあるはずで、検討項目を具体的に挙げて意見を聞けば、質問や意見もたくさん出てくるのではないか。現状では意見を言える人によって揺れてしまっているのではないか。内容について早く

進めないと時間がもったいない。

A：具体的な項目がないと質問を出しにくいという事ですね。

野上地区でも通学距離が遠い生徒がいます。現時点ではっきりしていることは、美里地区の生徒には通学バスを運行するという事です。

○統合ではなく新設中学校なのだから、新設中学校の基準として通学バスの利用範囲を決めるべきだと思う。小川地区の生徒が雨の日に歩いて帰っているときがある。通学バス利用について、距離が遠いのに乗れないなど、不公平があると開校した後で絶対に問題となる。

A：今までは統合するという場合に、通学先が変わる児童生徒に対し通学バスを運行することになっています。通学路が整備されれば、自転車通学の生徒が多くなると考えられます。

○今後の進行予定はどうか、いつ統合するのか。

A：6月22日に全校・全園対象の説明会を一カ所で開催します。そこで、原案を示します。それは、統合の期日や具体的な事柄を決めていくスケジュールについてです。その中で具体的な項目についての意見を吸収していきたい。バスの始発が何時になるのか。なども示すことができると思います。また、シューズ、カバン、体操服についても先にこちらから案を出すのではなく、保護者の代表を集めて意見を反映していきたいと考えています。

○1年前に色々と考えてきたが延期になった。時間不足の面もあったと思われる。今は最短で令和7年4月との事だが、早く進めないと間

に合わないのではないか。教育委員会が具体的な考えを示して意見や案を出す形にしないと、納得を図っていくのに1年間かかってしまうかもしれない。現場の先生方の意見をもとに、ある程度の形を案として出す。円満に解決できるような提案をする。場合によっては、無理なものは無理と回答できる用意も必要である。

A：今回の4回に分けて行ってきた懇談会では、これまでと違い何が何でも反対という意見は無くなってきています。今後は、新設校のイメージをもてるような話し合いにしていきたい。

終了 19：50